

研究実施のお知らせ

2018年06月17日 ver.1.0

研究課題名

がん患者の口腔保健に関わる自己効力感尺度の開発

研究の対象となる方

2018年7月から2020年3月の間に島根大学医学部附属病院歯科口腔外科外来を受診されたがん患者さんで、研究全体で300名の方に協力して頂く予定です。

研究の目的・意義

何かの行動を起こすための「やる気」のことを心理学の分野では「自己効力感」と呼びます。自己効力感とは自分がある状況において必要な行動をうまく遂行できるかという可能性の認知と定義されており、保健指導による行動変容との関係性が報告されている、患者さんが報告する方法で得られる医療のゴールの1つです。この自己効力感を計測するアンケートはいくつか種類がありますが、「がん患者さん専用」のお口のことに関する自己効力感アンケートは存在しない現状にあります。そこで新たに、がん患者さん専用のお口のことに関する自己効力感を計測するアンケートを開発することがこの研究の目的となっています。

研究の方法

島根大学医学部附属病院歯科口腔外科外来を受診した入院患者に対して治療前と退院前にアンケートによるデータ採取を行います。

採取するデータは大きく分けて2つです。

① アンケートについて

15分～20分程度で記入できるアンケートに回答いただきます。

② カルテから採取するデータについて

アンケートとは別にカルテに記載がある以下のデータを採取します。

- 一般情報（年齢、性別、同居人の人数、最終学歴、職業）
- がんに関する情報（原発部位、臨床病期、TNM分類、治療法、放射線量、レジメン、がんの診断日、治療開始日）
- 全身に関する情報（身長、体重、既往歴、Performance status、服用薬、飲酒、喫煙）
- 口腔、摂食嚥下に関する情報（残存歯数、義歯、プラークコントロールレコード、口腔内細菌数、口腔清掃の回数、FOIS (Functional Oral Intake Scale)、かかり

つけ歯科の有無、1年以内の歯科受診)

アンケート結果からは新規作成したアンケート票が信頼できるものになっているか、統計学的に検討します。また、カルテデータは統計解析する際の調整因子として使用します。

研究の期間

2018年7月～2020年3月

研究組織

この研究は島根大学医学部歯科口腔外科学講座が行います。

研究代表者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

島根大学医学部歯科口腔外科学講座 松田悠平

試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2020年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部歯科口腔外科学講座 松田悠平

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2301